

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和5年2月7日(2023.2.7)

【公開番号】特開2022-111227(P2022-111227A)

【公開日】令和4年7月29日(2022.7.29)

【年通号数】公開公報(特許)2022-138

【出願番号】特願2022-92190(P2022-92190)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/02(2006.01)

A 6 1 Q 19/00(2006.01)

A 6 1 K 8/86(2006.01)

A 6 1 K 8/73(2006.01)

A 6 1 K 8/81(2006.01)

A 6 1 K 8/88(2006.01)

A 6 1 K 8/34(2006.01)

10

【F I】

A 6 1 K 8/02

A 6 1 Q 19/00

A 6 1 K 8/86

A 6 1 K 8/73

A 6 1 K 8/81

A 6 1 K 8/88

A 6 1 K 8/34

20

【手続補正書】

【提出日】令和5年1月30日(2023.1.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

30

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(A)直鎖状でアルキル鎖長が14~22である高級アルコールから選ばれる1種又は2種以上を0.1~10重量%と、(B)界面活性剤と、(C)水溶性高分子を0.00001~0.1重量%と、(D)水とを含有する化粧品において、パール光沢を有彩色化する有彩色化方法であって、

化粧品に、前記(A)成分と前記(B)成分と前記(D)成分とともに、前記(C)成分を配合することを特徴とする有彩色化方法。

40

【請求項2】

前記(D)成分を含む水相に、攪拌しつつ前記(A)成分および前記(B)成分を含む油相を加えた後、さらに、前記(C)成分を配合することを特徴とする請求項1に記載の有彩色化方法。

【請求項3】

前記(B)成分が、HLBが10~20であり、かつ、POEアルキルエーテル、POE・POPアルキルエーテルから選ばれる1種又は2種以上である請求項1乃至2のいずれかに記載の有彩色化方法。

【請求項4】

前記(C)成分が、アルギン酸、キサンタンガム、ヒアルロン酸、クインシードガム、

50

ヒドロキシアルキルセルロース、カルボキシビニルポリマー、アクリル酸・メタクリル酸アルキル共重合体、ポリアクリル酸、カルボキシメチルセルロース、ポリエチレングリコール（分子量2万～700万）、アラビアゴム、プルラン、ポリビニルアルコール、ポリビニルピロリドン、ポリグルタミン酸、ステアロキシヒドロキシプロピルメチルセルロース、加水分解ヒアルロン酸アルキルグリセリル、ステアロキシPGヒドロキシエチルセルローススルホン酸或いはこれらの塩から選ばれる1種又は2種以上である請求項1乃至3のいずれかに記載の有彩色化方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

(C)の水溶性高分子はパール光沢を有彩色にする重要な原料である。本発明者が検討したところ、水溶性高分子の多くの種類の物質が利用できることがわかった。

例示すれば、水溶性高分子がアルギン酸、キサンタンガム、ヒアルロン酸、クインシードガム、ヒドロキシエチルセルロース、ヒドロキシプロピルセルロース及びヒドロキシプロピルメチルセルロース等のヒドロキシアルキルセルロース、カルボキシビニルポリマー、アクリル酸・メタクリル酸アルキル共重合体、ポリアクリル酸、カルボキシメチルセルロース、ポリエチレングリコール（分子量2万～700万）、アラビアゴム、プルラン、ポリビニルアルコール、ポリビニルピロリドン、ポリグルタミン酸、ステアロキシヒドロキシプロピルメチルセルロース、ステアロキシPGヒドロキシエチルセルローススルホン酸或いはこれらの塩を挙げることができ、これらより1種又は2種以上を選択して使用する。

20

なお、ステアロキシヒドロキシプロピルメチルセルロース、ステアロキシPGヒドロキシエチルセルローススルホン酸は水溶性高分子の分子量は疎水基がない水溶性高分子より制限があるのは当然である。

化粧品に対する配合量は他の原料の種類や量によって変化し、さらに水溶性高分子の種類によっても変化すると予想されるので適宜選択する。

さらにパール光沢の有彩色の色調は各種の要因によって変化するが主に水溶性高分子の量によってコントロールさせるので希望する色調のパール光沢を得るための量を配合するが化粧品の0.00001～0.1重量%で選択され、さらにより好ましくは0.0001～0.01重量%から選択される。

30

上記より配合量が少なくても多くても有彩色のパール光沢を有する化粧品は得られない。

40

50